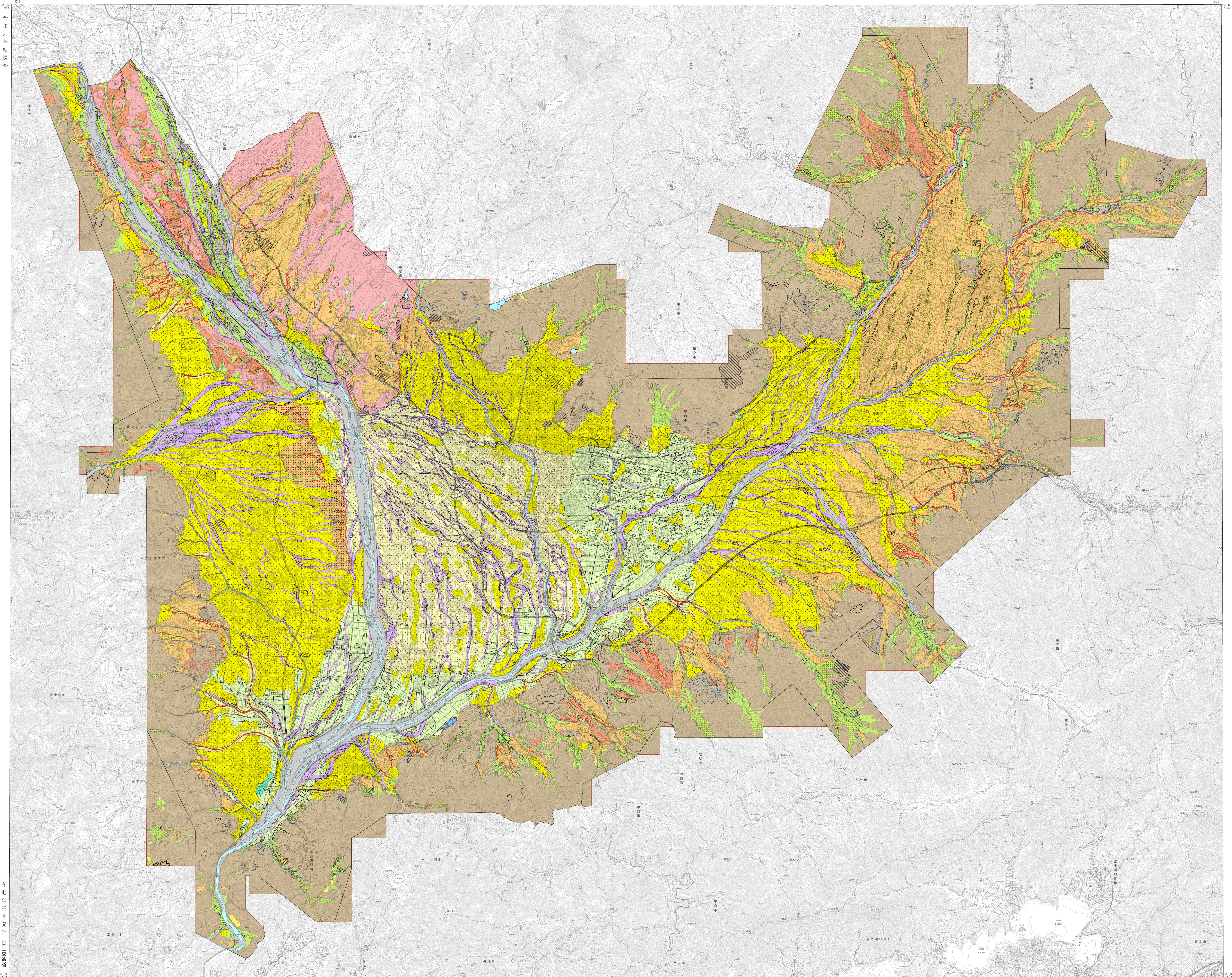




「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 364」
「この地図で使用する背景地図画像は、電子地形図25000を使用しています。」

凡 例 Legend

人工地形分類 Artificial Landform

人工平地 (切り盛り造成地)
Artificial ground(out and fill)

宅地等 Flatland for residential use

農地等 Flatland for agricultural use

旧谷縁 Buried valley

改変工事中の区域 Area under modification

盛土地 Fill-up land

埋立地 Reclaimed land

切土地 Cut slope

人工水面 Artificial water surface

自然地形分類 Natural landform

山地 Mountains

山地斜面等 Mountain slopes

火山斜面等 Volcano land slopes

麓斜面及び崖線 Colluvial slope or Talus

土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow

台地 Terraces and upland

砂礫台地 (更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)

砂礫台地 (更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)

砂礫台地 (更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)

ローーム台地 (更新世段丘) Loom terrace (Pleistocene terrace)

低地 Lowland

緩傾斜地 Gentle Alluvial fan

扇状地 Alluvial fan

谷底低地 Valley bottom

氾濫原低地 Flood plain(back morai)

自然堤防 Natural levee

旧河道 Abandoned channel

湿地 Wetland

天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river

河床・河川敷 Dry river bed

水部 Water

現水部 Recent water surface

旧水部 Former water surface

部分類 Subdivision of Natural landform

崖 Cliff

凹地・浅い谷 Depression・Shallow valley

1. 「自然地形分類」は、国土地理院が整備した治水地形分類図の自然地形分類「登山」(2017)、「外置置」(2017)、「南河川大川」(2017)、「甲府」(2017)、「甲府本郷」(2017)、「石巻」(2017)、「鹿沢」(2017)を基礎資料として編集したものである。

また、治水地形分類図が整備されていない地域に関しては、空中写真及び旧地形図の判読により作成した。判読に使用した空中写真は、米軍が撮影したM62(1947.11.2撮影)、M102(1948.9.23撮影)及び1960年代に国土地理院が撮影した空中写真(082-10X(1962年5月撮影))。

判読に使用した旧地形図は、大日本帝国陸地測量部が発行、作成した5万分1地形図「甲府」(1916年11月20日)、「登山」(1916年11月20日)、「石巻」(1916年11月20日)、「鹿沢」(1916年11月20日)、「甲府市」(1909年11月20日)、「谷村」(1911年5月20日)。

水部については、数値地図(基盤地図情報、2024年整備)の水涯線及び海岸線データを編集して作成した。

2. 「人工地形分類」は、調査時点で最新の電子地形図25000(2024年調査)の読図、及び基盤地図情報(数値標高モデル、2019～2020年調査)、地籍図の全国最新等尺(「等尺」)で公開された空間データ(2004～2021年調査)等の結果判読により作成したもので、人工平地については各市の大規模建設工事用地マップ等も参考にしている。昭和20年戦後の状況を反映しているが、資料の状況により最新の地形変化の状況が反映されていない場合がある。

3. 本図の作成にあたっては、名古屋大学の 海津 正樹 名誉教授、山梨大学の 後藤 聡 准教授、山梨大学の 後藤 史郎 助教の指導をいただいた。

行政区画

索引図

山梨県

1. 甲府市	2. 山梨市	3. 山梨市	4. 甲府市
5. 山梨市	6. 山梨市	7. 山梨市	8. 甲府市
9. 山梨市	10. 山梨市	11. 山梨市	12. 北杜市
13. 山梨市	14. 山梨市	15. 山梨市	16. 山梨市
17. 山梨市	18. 山梨市		

摘 要

1. 経緯度の基準は世界測地系

2. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標等は第54帯、中央子午線は東経141°

3. 作業機関 野村チャート株式会社

4. 背景地図 電子地形図25000(令和6年7月調査)

5. 対応する二次メッシュコード
533823、533824、533825、533826、533833
533834、533835、533836、533840、533844
533845、533846、533853、533854、533855
533856

1:50,000 甲 府

Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism (C) 2025